

## 第 31 回交通工学研究発表会



さらに! 「研究発表会」が変わります!

- (1) 1人あたりの発表件数の制限がなくなります
- (2) 1論文のページ数は、引き続き4ページを原則としますが、上限が最大8ページに変更されます

交通工学研究発表会は、毎年約400名の参加者があり、研究・実務の成果を広く公表する機会であるとともに、会員相互の交流の場、研鑽の場として大きな役割を果たしています。

今年より、これまで1人1編となっていた発表件数の制限をなくすとともに、1論文4ページの上限を最大8ページに変更します。これらを通じて、より充実した魅力ある研究発表会を目指します。

なお、昨年度に引き続き、発表会の9月開催、HP上での論文投稿となりますので、ご留意下さい。

「研究論文」、「実務論文」へのご投稿とともに、  
研究発表会への多くの方のご参加をお待ちしております。  
詳しくは、募集要項をご覧ください。

### スケジュール概要

項目	締切等日程	備考
発表申込・論文投稿期間	4月15日(金)～5月16日(月)	交通工学研究会 HP にて発表申込・論文投稿を行って下さい。
論文採否通知	7月下旬(予定)	
研究発表会プログラム公表	8月中旬(予定)	交通工学研究会 HP をご覧ください。
研究発表会 事前参加申し込み開始	8月中旬～	参加申し込みをされた方には、事前に論文集(CD-ROM)を送付いたします。
研究発表会 開催	9月20日(火)～21日(水)	会場:東京都区内(予定)

**個人会員入会手続きについて** 発表者は当会会員（正会員又は学生会員）に限ります。

(1) 個人会員として入会を希望する方は下記の2つの方法があります。 <http://www.jste.or.jp/>

- ・オンライン入会申込（ホームページ “入会案内” より、オンラインにて申し込みが出来ます）
- ・入会申込書（郵送・FAX用）

いずれかの申込方法で申込書を提出していただき、初回の年会費は郵便局払込取扱票にてご入金下さい。

<振込先> 郵便振替：口座名義 社団法人 交通工学研究会 口座No. 00140-1-66882

(2) 会費は、毎年当該年度分を、前年度に納入願います。

【会費・機関誌送付部数】

正会員	年額	10,000円	(1部)
学生会員	〃	5,000円	(1部)

(3) 会員特典について

機関誌無料購読、各種講習会・セミナー・研究発表会等本会主催事業の参加費割引、出版物購入割引（会員価格）など多数の会員特典をご用意しております。詳しくはホームページをご確認願います。

# 第 31 回交通工学研究発表会

## 発表募集

第 31 回交通工学研究発表会を下記の要領で開催いたします。

この研究発表会は、道路交通の安全と円滑及び環境との調和を実現するために、いろいろな場面で交通工学に携わる技術者の研鑽を図るために行われるものです。

学術的研究のみならず、調査・計画・施策など実務や現場に直結した報告(種々の対策実施例を含む)も歓迎いたします。投稿及び審査は、「研究論文」と「実務論文」に分けて行います。

### 記

1. 主 催 : 社団法人 交通工学研究会

2. 日 程 : 平成 23 年 9 月 20 日(火) ~21 日(水)

3. 会 場 : 東京都区内(予定)

#### 4. 発表形式

発表は原則として日本語とします。論文発表の発表時間は、発表 12 分、質疑応答 13 分の計 25 分程度を予定しています(プログラムの編成の都合により発表時間を変更する場合があります)。

#### 5. 研究奨励賞及び安全の泉賞(研究論文、実務論文ともに対象となります)

優れた論文発表に対して、研究奨励賞を贈呈いたします。

また、交通安全に寄与する優れた論文発表に対して安全の泉賞を贈呈いたします。

なお、研究奨励賞は 45 歳以下(平成 23 年 4 月 1 日現在)の発表者による論文発表が対象となります。

両賞ともに発表予定者以外の方による発表は対象となりません。

#### 6. 募集要項

##### (1) 研究発表

##### 1) 応募規定

投稿論文は審査付き論文等として発表したことのないものに限り、他の審査付き論文等との二重投稿もできません。また、投稿・発表する論文数に制限はありませんが、投稿論文は独立した 1 編の論文とし、論文題目(副題も含む)に「その 1」、「その 2」等とつけてはいけません。

著者のうち発表予定者は当会会員(正会員又は学生会員)に限り、論文投稿には会員番号が必要となりますので、今回新たに入会される方は、投稿以前に必ず入会手続きを行って下さい。なお、連名者は、原則として発表予定者を含む 4 名までとします。また、審査を通過した場合、投稿時の発表予定者が必ず研究発表会で発表することを前提とします。

論文の書式見本が研究会 Web ページに掲載されていますので参考の上、執筆、投稿をして下さい。なお、今回より、投稿原稿のページ数は、「4 ページを原則とする。ただし、最大 8 ページまでの原稿を受け付ける」となりました。

##### 2) 部門(研究論文または実務論文)

論文発表は、学術研究や学術調査などの「研究論文」と、実務調査や施策等の実施あるいは実施結果に重点を置いた「実務論文」の 2 つの部門に分かれます。

「研究論文」、「実務論文」の区別は、投稿時に希望部門を選択していただきますが、最終的判断は審査小委員会が行うものとします。

なお、発表会プログラムは「研究論文」と「実務論文」の区別なく編成されますが、「交通工学研究発表会論文集」にいずれであるかが明記されます。

### 3) 審査の方法

投稿された原稿に基づき、交通工学研究発表会査読委員 3 名の査読を経て、交通工学研究発表会審査小委員会が審議した上で、「発表の適否」を決定し、その結果を投稿者に通知します。提出後は原則として原稿を修正できません。なお、例外的に審査小委員会より著者に照会・再提出を求める場合があります。

発表に適するとされた原稿は、発表会に先立って出版される「交通工学研究発表会論文集」に掲載され、当会の文献情報に登録されます。

### 4) 審査基準

交通工学の発展への寄与の観点から、提出原稿に基づいて発表内容を審査します。「研究論文」、「実務論文」の各々の部門ごとに、次の点を特に重視した基準で審査されます。

研究論文	「新規性」(研究としてのオリジナルな価値を有するかどうか) 「有用性」(有用な成果が得られているかどうか) 「将来性」(交通工学の発展に寄与する成果が得られているかどうか)
実務論文	「適時性」(時宜を得たテーマであるかどうか) 「活用性」(実務者にとって参考になる報告であるかどうか) 「可能性」(仮に途上であっても、実務への展開が期待できるかどうか) ※通常の知見とは異なる成果が得られた場合や、いわゆる「失敗事例」についても、今後の展開可能性があると判断されれば高く評価されます。

また、原稿の持つ「標準的な分かり易さ・信頼度」を、「題目の適切性(題目から問題意識、問題点、目的が読み取れるかどうか)」、「目的と結論の対応関係(目的と結論の対応が取れているかどうか)」、「著者の主張の読み取り易さ(内容から筆者の主張が読み取れるかどうか)」、「原稿の推敲(誤字・脱字、図表見出しの抜けや本文引用との不整合、凡例や変数の説明不足などが生じていないかどうか)」、「書式(著しい書式違反がないかどうか)」の 5 点から確認し、この点に大きな問題が無いかどうか審査対象となります。なお、ページ数の多少は、審査基準に含まれません。これらを全て勘案し、総合評価を行います。

### 5) 審査料

審査料は 1 編につき 10,000 円です。発表申込・論文投稿の完了後、投稿期限の 1 週間後(5 月 23 日(月))までに、郵便振替により次の口座までご送金下さい。なお、払込用紙の通信欄に「研究発表会審査料(受付番号:〇〇〇)」とお書きのうえ、発表予定者名を必ず記入願います。期日までに審査料の振込がない場合は審査されず、研究発表会での発表もできません。払込手数料は投稿者をご負担下さるようお願い申し上げます。

郵便振替口座番号 00140-1-66882 社団法人 交通工学研究会

### 6) 原稿作成要領

原稿は日本語または英語に限ります。

原稿は書式見本(当会 Web ページからダウンロード可能。内容が新しくなっていますのでご注意ください)に説明されている注意点に従って作成して下さい。要点は次のとおりです。

- ・(A) 論文集用原稿と(B) 審査用原稿の 2 種類の PDF ファイルを作成していただきます。
- ・(A)は審査を通過した後に論文集 CD-ROM に収録される完全版の原稿で、著者名等の記載を含みます。(B)は(A)から著者の所属・氏名と連絡先の記載を削除したものです。これらの記載の有無を除き、(A)と(B)は同一の内容でなければなりません。
- ・PDF ファイルのサイズは 5MB 以内として下さい。
- ・フォントはすべて PDF ファイルに埋め込んで下さい。セキュリティなどは設定しないで下さい。
- ・PDF ファイルの作成にあたっては、本文、図表ともに鮮明であることを確認して下さい。判読困難な原稿は書式違反となります。

## 7) 発表申込・論文投稿方法

発表を希望される方は、4月15日(金)から5月16日(月)迄に、当会 Web ページの「オンラインサービス」(研究発表会発表申込)から発表申込と論文投稿を行って下さい。

なお、申込後の変更及び取消はご遠慮願います。また、諸書類(返信用はがき、審査料払込用紙の写し、オンライン登録内容一覧の写し)の郵送は、第30回(平成21年度)から不要になりました。

### ① 発表申込

- Web ページ上の発表申込画面の指示に従い、所定の情報を入力して下さい。
- 原稿の分野：次の中から原則として1つを選択して下さい。

交通流(理論・現象分析)／交通容量・サービス水準／交通制御・交通規制／交通安全／ 大気環境(大気汚染)／交通騒音・振動／歩行者・自転車交通／交通情報と交通管制／ 駐車行動と駐車管理／交通需要予測／交通行動分析／公共交通システム／ネットワーク交通流／ 物流・ロジスティクス／移動制約者の交通／道路構造・道路線形／道路附属施設／ 駐車場・ターミナル施設／総合交通計画／地区交通計画／道路計画／都市交通計画／ 交通経済／交通行政／交通心理・人間工学／防災／その他( )
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- キーワード：文献登録及びセッション編成の参考にさせていただきますので、最大5つご指定下さい。

### ② 論文投稿

- (A) 論文集用原稿と(B) 審査用原稿の両方を Web ページからアップロードして下さい。
- PDF ファイルをアップロードしたら、必ずダウンロードして内容を確認し、ファイルが正常にアップロードされたことを確認して下さい。
- 投稿期間中は、アップロードを何度でもやり直すことが可能です。

## 8) その他

当研究会は、特許庁から「特許法第30条第1項の規定に基づく学術団体」の指定を受けております。したがって、当研究発表会において文書をもって発表した内容をもとに6ヶ月以内に特許、実用新案の出願をする場合には「新規性の喪失の例外」(新規のもの)として扱われます。

### (2) デモンストレーション

開発した機器、器材の展示、コンピュータプログラム、ビデオ映像等、様々な出展をお待ちしています。

- 1) デモンストレーションは、研究発表に関連するものに限りします。
- 2) 出展希望者は発表申込の際にその旨を記入願います。
- 3) デモンストレーションに必要な機器類は、発表者でご用意願います。使用機器につきましては、発表申込の際にその内容と台数を記入願います。

(例) パソコン一式、ビデオデッキ1台、モニターTV1台

なお、会場の都合によりご希望に添えない場合もありますので、予めご了承下さい。

#### 発表申込・論文投稿 及び 原稿書式見本のダウンロード:

<http://www.jste.or.jp/> 「オンラインサービス」からリンクをたどって下さい。

#### お問合せ先:

社団法人 交通工学研究会 (担当/植田)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5階

Tel 050-5507-7153 または 03-6410-8717 Fax 03-6410-8718

Email [jigyoi@jste.or.jp](mailto:jigyoi@jste.or.jp)

※当会 Web ページにアクセス不可能な方は上記までお問い合わせ下さい。